

遊び場のあり方

塩川 寿平

今まで三回にわたって、遊び場の現状、遊び場の本質的価値について検討してきた。今回は、遊び場を現実にある物にするための、具体的な検討を加えていきたいと思う。

保育所の乳幼児を対象に、どのような保育が考えられ、そのための環境条件としてどれだけの遊び場が用意されるべきか、結論を出してみたいと思う。

一、遊び場における保育時間

遊び場において行なわれる保育にはどのようなものがあるのだろうか。それは全体の保育計画に対して、どのような割合にあるのだろうか。ここでは著者、および茂呂塾保育園（東京板橋区）

の大沼和子園長、および野中保育園（静岡県富士宮市）の塩川豊子園長の三氏の臨床経験から、遊び場（屋外保育施設）における

保育時間の割合を出してみた。

注1 一日の保育時間について、労働省婦人少年局「既婚女子労働者に関する調査」（一九六六年六月、八三ページ）によると、

八時間未満三五・六%

八〜九時間未満三八・八%

九〜十時間未満二一・七%

十時間以上及び不明一一・九%

となっているが、ここでは原則として一日八時間と考えて検討する。

注2 提示された時間は、著者七年、大沼十五年、塩川十八年の臨床経験をもとにした仮説であって、絶対的時間を意味しない。あくまでも一年間を通しての平均であり、地域・季節・園の

(第1表) 8時間保育を考えた場合の各保育時間の割合

年齢 保育時間 提示者	5、主に11カ 月児を3見る末満			1歳3ヵ月～2歳			3～4歳			5～6歳			備考
	著者	大沼	塩川	著者	大沼	塩川	著者	大沼	塩川	著者	大沼	塩川	
a	2:30	2	2	2:30	2:30	2	2	2	1:40	2	2	1:20	屋内保育
b	4	4	3	2	2	2:30	2	2	2:20	1:30	1:30	2	
c	0:30	1	1	1:30	1:30	1:30	1:30	1:30	1:30	2	2	2	
d	1	1	2	2	2	2	2:30	2:30	2:30	2:30	2:30	2:40	屋外保育

行事等によって変わる。

たとえば、運動会の前には屋外保育がふえるであろうし、発表会の前には屋内保育がふえるであろう。また雪国等、地域においては自然の影響を大きくうける。それゆえ、解釈にあたって、地域・季節・行事等の変数を加えて解釈してほしい。

注3 臨床経験にもとづく仮説であるが、十数名の保育関係者に提示したところ、ほぼ肯定された。一年間を通した保育平均値として、信頼度は高いといえる。

注4 保育時間八時間について以下のように分ける。記号a、b、c、

(第2表) 遊び場における保育時間d

年齢	d (8時間保育のうち)
1歳3ヵ月末満	1時間～2時間
1歳3ヵ月～2歳	2時間
3～4歳	2時間30分
5～6歳	2時間30分～2時間40分

dとする。

a 給食の時間(おやつ、昼食)

b 午睡

c 屋内保育の時間(自由保育の $\frac{1}{2}$ を含む)

d 遊び場にいる時間(自由保育の $\frac{1}{2}$ を含む)

以上三氏の提示したdを年齢別にまとめると第2表のとおりである。

二、遊び場における保育内容

今、明らかにされた「遊び場における保育時間」には、どのような保育内容が予定され、実施されているのであろうか。

今、左の資料を参考としながら、その全ぼうを明らかにする。

厚生省児童家庭局「保育所保育指針」、全社協保母会保育要領作成委員会「保育所保育要領」、北九州市保育所連盟保育研究協議会「北九州市保育実践計画書」、野中保育園「年間保育計画」以上を年齢別に検討する。

年齢 一歳二カ月未満児について d：一〜二時間

生活・遊び

- ①日光浴、空気浴
 - ②ウサギ、ハト、池の金魚等小動物めぐり
 - ③遊び場の花壇へ花を見に行く
 - ④早い子はよちよち歩き ⑤小プールで水遊び
- 以上すべて保母と共に行なう。

年齢 一歳三カ月〜二歳児について d：二時間

体育・健康

- ①ひとり歩き ②遊具遊び（船形シート、スベリ台）
- ③ボールをコロコロところがして追う ④タルころがし
- ⑤リズム体操（手首、足首、頭の運動、全身運動）
- ⑥マット遊びと低いとび箱遊び ⑦散歩
- ⑧砂場遊び ⑨小プールで水遊び
- ⑩かけ足（初歩的な） ⑪炎天には帽子をかぶって出る

社会・言語

- ①呼び合う
- ②遊び場所名を覚える。（例）ハトさんというハト小屋の所へ行く

③あいさつする ④困った時助けを求める

⑤行動の模倣を始める。年上の子について歩く

⑥自他の区別をはっきりいう

⑦名を呼ばれて応じる。要求に応じる

⑧初期のままごと ⑨かくれんぼ（簡単なもの）

造形

①砂場遊び ②地面をつつく

③ブロック遊び（戸外用の大型のもの） ④板ならべ

自然

①カエルをつかまえようとする

②犬を見て（笑う、泣く）表情が出る

③花を見つけてつむ

④ウサギ、カメ、ハトにえさをやる

年齢 三〜四歳児について d：二時間三十分

体育・健康

①歩行（普通に歩く、連歩、小走り、方向転換、合図で停止）

②体操（関節の屈伸、全身運動）

③遊具遊び（このころになると未熟だが何でもできる。ブラン

コ、スベリ台、鉄棒、ターザン等）

④大きなリング箱を運ぶ

⑤ ボール投げ（大きいボールの両手投げ、小さいボールの片手投げ）

⑥ 両足とび ⑦ 片足とび ⑧ つまき歩き

⑨ 三輪車を引っぱる ⑩ 平均台を少し歩く（低いもの）

⑪ 両足交互に階段のぼり ⑫ 屈伸体操

⑬ 手を洗って教室に入る

⑭ プール遊び（三十センチの水深で手をつけて泳ぐ）

⑮ 炎天に出る時帽子をかぶる規則が身につく

⑯ 裸でマラソンをする

⑰ リレーで（バトンが渡せる）遊ぶ

⑱ 低い木に登る ⑲ 雪だるまを作る

社会・言語

① 二人で遊ぶ。声をかけ合う

② 三、四人いっしょにいて、一人遊びや互いに関連をもちながら遊ぶ

③ 応待、喧嘩、親愛をする（自他の区別ある活動）

④ 危険な状態にある子を保母に教える

⑤ 共同で遊具を使う（順番のとりっこもする）

⑥ 二十人ぐらいいでもまとまって遊ぶことができるようになる

⑦ 保母や友だちと遊びの相談をする

⑧ ばく、きみを使う

⑨ 行事を喜ぶ（子どもの日、七夕、お祭り、クリスマス、お正月等）
⑩ 遊んだあとかたづけをする

⑪ 約束、きまりを守る

⑫ 物語を作って、話し合いながらごっこ遊びをする

総合的遊び

① 追っかけっこ ② リズム遊び

③ ままごと ④ ブロック遊び ⑤ 徒歩競走

⑥ 乗り物ごっこをする ⑦ どんご遊びをする

自然

① アサガオを保母と植える ② 植物の葉をひろう

③ 動物を見て名をいう ④ 動物ごっこをする

⑤ 身辺の自然現象に驚く（にわか雨、雷、雪等）

⑥ 小動物を追う。つかまえる（カニ、バッカ、カエル、トンボ等）

⑦ 花をつんで遊ぶ

⑧ 身のまわりの数や色のちがいに注意する

⑨ きれいな石や釘をひろう

⑩ 動物の飼育、植物の栽培を保母とする

⑪ 年長児の田植を見る ⑫ ジュズとりをして遊ぶ

造形

① 砂場でおだんごを作る

② 土で作ると砂よりも上手にできることをみつける

- ③ リンゴ箱やダンボールで乗り物や怪獣を作る
- ④ 形おし遊びをする
- ⑤ コンクリートに白墨で絵をかく
- ⑥ 一斗カンにペンキで色をぬる
- ⑦ こいのぼりを作って、走って泳がす

音楽

- ① 屋外でハーモニカをふく
- ② 太鼓をたたく
- ③ 笛、ラッパをふく
- ④ シンバルをならす
- ⑤ 遊びながら歌をうたう

- ⑥ マーチに合わせて歩く(四分の二、四分の四拍子)
- ⑦ リズムに合わせて動作する
- ⑧ スキップの初歩

年齢 五〜六歳児について

d:二時間三十分〜二時間四十分

体育・健康

- ① 園の体育設備を使って遊ぶ
- ② 強弱、速度を聞き分けてそれに応じて歩く
- ③ いろいろなスキップ遊びをする
- ④ かけっこ、とびっこ、並びっこ等が敏速にできる
- ⑤ 遠い所(五〜八キリ)までがんばって歩く
- ⑥ 集団遊びのルールを守って遊ぶ
- ⑦ ボールを投げたり、まどに当てたりする
- ⑧ 設備を工夫して遊びを發展させる
- ⑨ 疾走、リレーをする
- ⑩ 幅とび、ナワとびをする
- ⑪ 水遊びから、水泳にうつり、もぐりも上達する
- ⑫ プールへ頭からとび込める
- ⑬ 八メートル呼吸せずバタ足で泳げるようになる
- ⑭ とび箱やマットを使って活発に遊ぶ
- ⑮ マットの上で三点倒立ができる
- ⑯ フォークダンスを樂しめる
- ⑰ 二メートルの高さからとび下りることができる
- ⑱ 高い木に登る
- ⑲ ボール五メートルに登る
- ⑳ ルールにしたがって競技する
- ㉑ 玉入れ、だるま運び、綱引き等の団体競技をする
- ㉒ 汽車ごっこでまとまって走ることができる
- ㉓ 団体行進をする
- ㉔ おしくらまんじゅう、ハンカチおとし、目かくし鬼等をする
- ㉕ 持久力遊びをする(鉄棒にぶらさがる)
- ㉖ すもうをする
- ㉗ まりつき競争をする
- ㉘ 雪合戦をする。雪だるまを作る
- ㉙ 保母のナレーションや音楽に合わせて身体表現をする
- ㉚ 遊びから教室に入る時手を洗う

③① 汗をかいたら裸になつてふく

③② 炎天で遊ぶ時には帽子をかぶる

③③ からだの異常を早く保母に知らせる

③④ 運動後の休息が進んでできる

③⑤ 必要に応じて衣服の調節をする

社会・言語

① 園生活のきまりを守つて遊ぶ

② 共同の遊具や用具を大切にゆずりあつて使う

③ 集団行動を早くきちんとする

④ 自分の意志をはつきりいう

⑤ 人の立場を考へるようになる

⑥ 友だちと協力してごっこ遊びをする

⑦ 話し合いをまとめようとする

⑧ 遊び場で保母の必要な連絡がしつかり伝わる

⑨ 順番を守ること、道具の使い方について話す

⑩ お客様ごっこ、店やごっこで言葉の使い方が正しくできる

⑪ 遊びの中で文字や数字に関心をもつ

⑫ 自分の遊びを他人に話して聞かせることができる

⑬ 行事に参加することを喜ぶ(子どもの日、母の日、七夕、敬老の日、遠足、七五三、クリスマス、正月、ひなまつり等)

自然

① 身近な動植物をかわいがり、進んで世話をする

② 事物の相違点、変化、成長するものに気づく

③ 性質や変化に疑問をもつ

④ 気象の変化に興味をもつ(梅雨、月、星、夕立、虹等)

⑤ 高低、左右、遠近、広い狭い、長短などがわかり、くらべて遊ぶ(木の実や木の葉で遊ぶ)

⑥ 遊び場の変化で気候の変化を知る

⑦ 冬の自然現象の美しさに気づき、驚く(霜柱、雪、氷等)

⑧ 冬の動植物の変化に関心をもつ(温度と生物の関係、冬ごもりする小動物、水栽培の植物等)

⑨ 冬ごもりする小動物、水栽培の植物等

総合的遊び

① どんご遊び ② サンタをさがしにお山へ行こう

③ 宝さがし

造形

① 遊びにつかうものを工夫して作る(チャンバラの剣等)

② 土を掘つて穴をあけ、柱を立てる

③ インディアンごっこ等の遊びで町や部落を建設する

④ 外で絵を描く

⑤ 外でフィンガーペインティングをする

⑥ リンゴ箱に板や角材を釘で打ちつける(自動車や動物を作る等)

⑦こいのぼりを作って木やボールに上げる

音楽

①拍子の動作をマスターする

②運動会で応援合戦をする

③鼓笛隊をやる ④歌いながら遊ぶ

以上、保育内容について具体例を上げ、遊び場でどのような保育を予定しているのか、その全ぼうをとらえようと試みた。どれだけの時間に、どれだけの保育を行なうか、保育計画作成上の留意点であるが、この両者の関連は、また遊び場のあり方を決定する重要な要因である。

三、遊び場の分析

子どもたちが戸外にいる時間と、戸外の生活の内容を見てきたわけであるが、次に具体的な活動を保障する施設、設備について体系的に分析してみたいと思う。

1. 場所（スペース）別大系

第一に、諸施設の配置場所（スペース）別に系統化する。

① かけっこ、リズムダンス、ボール投げ等を行なうスペース

「平地（グラウンド）施設」

② ブランコ、砂場、子どもの小屋等を配置するスペース「遊

具施設」

③ ウサギを飼ったり、花を植えるスペース「自然環境施設」

④ 道具かたづけの場所、水のみ場、足洗い場等の「付属施設」のスペース

以上の四つの大系に分けられる。

2. 機能別中系

以上四つに分けられた大系についてさらに機能別に分化する。

①平地（グラウンド）施設について

陸上競技系、遊技系、球技系、移動遊具系の四系

②遊具施設について

固定遊具系（運動機能を主とした固定遊具）、固定遊具系（機能、模倣受容、構成を主とした固定遊具）、素材遊具の三系

③自然環境施設について

小動物（飼育）系、植物（栽培）系の二系

④付属施設について

付属施設系

以上、機能別中系である。

3. 機能別中系にしたがって、さらに「設備別及び遊び（屋外保育）の具体例別小系」に分析する。

系

屋 外 保 育 具 体 例 別

25メートル疾走，マラソン，リレー，障害物競争，ナワとび，幅とび，高とび
マット演技，ラジオ体操等

リズムダンス，鼓笛隊，電車，交通信号，かげふみ，忍者ごっこ，まりつき，ウサギと
び，前とび後ろとび，うずまき，かごめかごめ，ハンカチ落とし，おにごっこ，めん
こ，陣とり等

ボール投げ，ボールけり，野球，ドッチボール，サッカー，玉入れ，キャッチボール，
ノック，まとあて，ハンドボール，羽つき，バドミントン，ゴルフ等

二輪車，三輪車，リヤカー，スケーター，ホッピング，タイヤころがし，タルころが
し，輪まわし，竹うま，ゴーカート等

のぼる，ふる，すべる，上下する，ぶらさがる，くぐる，渡る，まわる等

ままごとごっこ，自動車ごっこ，すもう，おしくらまんじゅう，馬のり等

砂遊び，どろんこ遊び，カラクタによる造形遊び，プール遊び等

虫，鳥，魚，小動物一般の飼育・観察を行なう等

草，花，木，野菜等の栽培・観察を行なう等

水を飲む，足を洗う，大小便をする，休憩する，スコップやマットやとび箱をしまう等

(第3表) 遊び場分析表

施設別	系	大系	中系	小
	場所別 (スペース)	機能別		設備別
遊び場 (屋外 保育 施設)	①平地 (グラウンド)施設	1. 陸上競技系	グ ラ ン ド	
		2. 遊技系		
		3. 球技系		
		4. 移動遊具系		
	②遊具 施設	1. 固定遊具(I)系 (狭義の遊具; 運動機能を主) (とした固定遊具)	木, ジャングルジム, ブランコ, スベリ台, シーソー, 鉄棒, ト ンネル, メリーゴーランド, 渡 り等	
		2. 固定遊具(II)系 (広義の遊具; 模倣・受容構 成遊びを主とした固定遊具)	子どもの家, ポンコツ車, 芝生, 土の小山, 草のしげみ, テーブ ル, 木かげ等	
		3. 素材遊具系 (最広義の遊具; 素材の利用 による遊具)	砂場 土場(どろんこコーナー) 水場(プール・シャワー) ガラクタ場等	
	③自然環境 施設	1. 小動物(飼育)系	自然の草むら, 木立, 小川, 池, 犬小屋, ハト小屋等	
		2. 植物(栽培)系	花壇, 小さな畑, 植木場自然の 草むら等	
	④付属 施設	1. 付属施設系	飲料水用設備, 生がき(へい) 足洗い用設備 外便所 ベンチ 倉庫 小屋等	

以上1、2、3をまとめ、表にすると、第3表のとおりである。

次に**固定遊具(I系)**(狭義の遊具・運動機能を主とした固定遊具)について設備上段と具体例下段を対照して考察する。

設備

屋外保育具体例

自然

- 1. 木
- 4. 坂

- 2. はしご
- 5. 小山

- 3. なわ
- 6. 大岩等

人工的

- 1. ジャンゲルジム

- 2. 太鼓梯子

- 3. 攀登棒

- 4. コンクリートの山

自然

- 1. 木の枝

- 2. ターザンの綱

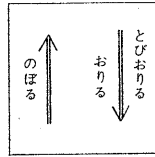
人工的

- 1. プランコ

- 2. 椅子プランコ

- 3. 遊動円木

①のぼる(登攀) 運動を主としたもの



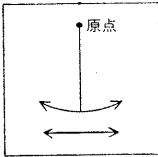
運動方向図

○懸垂力・協応性・柔軟性・器用性・

平衡感覚・身体の支配力等

○成功・冒険・征服感をかなえる

②ふる(横振幅) 運動を主としたもの



○手足の協応性・リズム感・身体の支

配力・平衡性・柔軟性等

○飛しようの夢・快感をかなえる

- 4. 遊動船

- 5. スカイスクーター

自然

- 1 斜面

人工的

- 1. スベリ台

- 2. 螺旋スベリ台

- 3. コンクリートの山

- 4. スカルプチュア

自然

- 1. 角材と石の組み合わせ

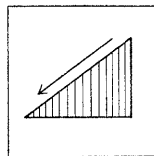
人工的

- 1. シーソー

- 2. 船型シーソー

- 3. テーターラダー等

③すべる(滑走) 運動を主としたもの

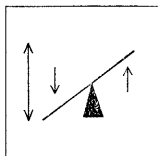


○高低感・速度感・平衡性・敏捷性・

協応性・筋力等

○乗り物遊び、受身的状態

④上下(縦振幅) 運動を主とするもの



○平衡感・リズム感・身体の支配力・

協応性

○ギタタンパコンの快感

自然

1. 木の枝

人工的

1. 鉄棒

2. 雲梯

3. つり輪

自然

1. ほら穴

2. 古だる

3. 土管

人工的

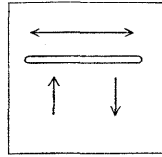
1. トンネル

2. 汽車

自然

1. (おとなが子どもを抱いて回すなど)

⑤懸垂運動を主としたもの

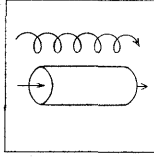


○懸垂力・平衡感覚・柔軟性・筋力・巧緻性

○自己認識の喜び

巧緻性

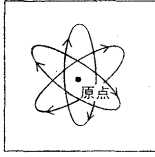
⑥くぐる(入坑)運動を主としたもの



○協応性・柔軟性

○遮断・別世界の楽しさを味わう

⑦まわる(回転)運動を主とするもの



人工的

1. メリーゴーランド

2. 波動回転塔

3. ストライド等

自然

1. 石

2. 岩

人工的

1. 渡り

2. 乱ぐい

3. ブロック等

1. 三角スベリ台

2. リフト

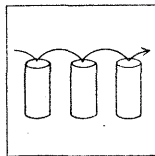
3. アームストロング(以上複合機能遊具)

4. スカルプチュア(彫刻遊具)

○身体の支配力・平衡感・敏捷性・器用性・リズム感

○走馬の喜び

⑧わたる(歩行)運動を主としたもの



○身体の支配力・リズム感・平衡感・敏捷性・器用性

○成功の喜び

⑨複合機能運動によるもの

(先に述べた①〜⑧までの運動を複合してもっている)

特記 固定遊具(I系)についての意見

1. 子どもたちは喜んで遊んでいるか。すなわち心理的に満たされているか

2. 遊び方において、子どもたちの創造力、空想力が生かされているか

3. 運動的にみて、能動的な遊具か。子どもが受身になる遊具は望ましくない。自己の努力が進歩となって現われる遊具であること

4. 基本機能が生かされているか

5. デザイン、色は子どもたちの立場にたったものか

6. 安全性は考えられているか

7. 遊び場の本質的価値にかなっているか

等について留意すべきである。

固定遊具(II系) (広義の遊具・①模倣、②受容、③構成遊びを主とした固定遊具) について同様に考察する。

屋外保育具具体例

設備

1. 子どもの家(ブレイハウス)

2. こわれた自動車(ボンコツ車)

3. 土の小山

4. 草のしげみや木のしげ

5. 芝やクローバの群生地

6. テーブルと木かけ(藤棚など)

7. 小川(小水路など)

8. 坂道と秘密の小道等
素材遊具系について(最広義の遊具素材の利用による遊具)

1. 砂場
① 感覚的砂遊び ② おだんご作り ③ 型ぬき
④ トンネル作り ⑤ 城作り ⑥ 自動車遊び
⑦ もぐら遊び ⑧ 穴ほり等

2. 土場(土遊び場)
① どんご遊び ② おだんご作り
③ トンネル作り ④ 穴掘り ⑤ 塔作り等

3. 水場(プール、シヤワーコンクリートなたたき)
① 水遊び ② 泳ぐ ③ こうらぼし ④ もぐる
⑤ 水になれる ⑥ 目を水の中であける ⑦ ロケット遊び ⑧ とびこみ ⑨ 石ひろい ⑩ 綱引き ⑪ 水中歩き

4. ガラクタ場(造形の場所、材料置き場)
① ジャングル部落作り ② 自動車作り ③ 動物園作り ④ 怪獣作り ⑤ 釘を木にうつす ⑥ ノコギリで木を切る ⑦ 木に色をぬる ⑧ 材料をえらぶ ⑨ 飛行機を作る等

小動物（飼育）系について

1. 自然の草むら
2. 自然の木立
3. 小川
4. 池
5. 犬小屋
6. ハト小屋等

植物（栽培）系について

1. 花壇
2. 自然の草むら
3. 植木場
4. 小さな畑

①虫

バッタ、スズ虫、セミ、カブト虫、チョウ、ホタル、アリ、カブト虫、コオロギ、イモ虫

②鳥

スズメ、ハト、ツバメ、カナリヤ、ウグイス

③魚

キンギョ、コイ、フナ、ドジョウ

④小動物一般

カエル、イモリ、トカゲ、ウサギ、ヘビ、イヌ、ネコ、ヤギ等

①草

レンゲ、ナグサ、オオバコ、ジュズハグサ

②花

ヒマワリ、ユリ、コスモス、バラ、アサガオ、スミレ、チューリップ、キク

③木

マツ、ミカン、スギ、リンゴ、イチヨウ等

④野菜

ナス、イチゴ、キュウリ、ヘチマ、そら豆

付属施設系について

1. 飲料水用設備

(水飲み場)

2. 足洗用設備

3. 外便所(大便所、小便所)

小便所)

4. ベンチ

5. 芝生

6. 木陰

7. 倉庫(準備、整理室)

8. 小屋

9. ごみ箱

①手を洗う

②顔を洗う

③水を飲む

④砂場に水を運ぶ

⑤プールに水を入れる等

①足を洗う

①遊び場に小便をしない

②もらさない

③トイレで大小便をちゃんとする

④下足で出入りできる

①遊びつかれたら休む(休憩)

②長い間炎天にいない

③静かな遊びをする

①スコップ ②マット ③三輪車 ④二輪車

⑤タイヤを整理

⑥玉入れのポール

⑦綱ひきの綱 ⑧とび箱等

①はな紙はごみ箱へすてる

(つづく)
(静岡厚生保育専門学院)